

令和2年12月11日

国立大学図書館協会
各会員館館長 殿

東海北陸地区国立大学図書館協会会長
名古屋大学附属図書館長
佐久間 淳一 [公印省略]

令和2年度国立大学図書館協会東海北陸地区助成事業研修会
「イマドキ 大学図書館のリスクマネジメント ～地震・カミナリ・ウィズコロナ～」
の開催について (通知)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、東海北陸地区国立大学図書館協会では、本年度における地区協会助成事業として別紙実施要項のとおり研修会を開催いたします。

つきましては、貴館職員の皆様へご周知いただきますとともに、ご参加につきましてご配慮いただきたくお願い申し上げます。

記

テーマ： イマドキ 大学図書館のリスクマネジメント ～地震・カミナリ・ウィズコロナ～

日時： 令和3年2月12日（金） 13：30 ～ 16：30

開催形式： オンライン講演（Zoomにて開催）

※ZoomのアクセスURL等は2月1日（月）以降にメールにてお知らせします。

申込先： tosyo-koshukai@gifu-u.ac.jp

※参加者の氏名・所属・メールアドレスを明記してお申し込みください。

申込期限： 令和3年1月31日（日）まで

以上

（お問い合わせ先）

岐阜大学 管理部学術情報課（担当：竹田）

e-mail tosyo-koshukai@gifu-u.ac.jp

電話 058-293-2192

FAX 058-293-3299

令和2年度国立大学図書館協会東海北陸地区助成事業 研修会 実施要項

テーマ：「イマドキ大学図書館のリスクマネジメント
～地震・カミナリ・ウィズコロナ～」

日 時：令和3年2月12日（金）13：30～16：30 オンライン開催（Zoom）

主 催：東海北陸地区国立大学図書館協会

趣 旨：

災害・情報セキュリティ・問題利用者等、図書館の安全を脅かすリスクは様々あり、各図書館では日頃より危機管理に気を配り、体制を整備しているところである。

本研修会では、前半で、大学図書館におけるリスクやその対処法全般について、専門家から改めて知見を得ることとし、後半では、昨今新たなリスクとして各図書館が直面している感染症拡大リスクに焦点を当て、講演と事例報告により情報を共有することで、各館における課題把握や更なる体制整備につなげる。

プログラム：

- | | | |
|-------|--|---------|
| 13：30 | 開会挨拶
岐阜大学図書館長 | 林 正子 |
| 13：35 | 講演「大学図書館における危機管理」
関東学院大学 社会学部現代社会学科 准教授 | 千 錫烈 氏 |
| 14：35 | 休憩（15分） | |
| 14：50 | 講演「リスクマネジメントから見た日本図書館協会「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」」
公益社団法人日本図書館協会常務理事・慶應義塾大学名誉教授 | 田村 俊作 氏 |
| 15：20 | 小休憩（5分） | |
| 15：25 | 事例発表「ウィズコロナと大学図書館サービスー東京学芸大学
附属図書館 緊急事態宣言からの309日ー」
東京学芸大学附属図書館学術情報課利用者サービス係長 | 瀬川 結美 氏 |
| 15：55 | 質疑・意見交換（30分） | |
| 16：25 | 閉会挨拶 | |
| 16：30 | 閉会 | |